

令和3年度 愛知産業大学免許状更新講習 シラバス

認定番号 令 03-30347-503030 号

講習名	【選択】健康で安全な暮らしへ ―生活・防災・教育―			コード 番号	C 3
日程	令和3年8月6日(金)	時間数	6時間	定員	40名
担当講師	小椋 紀行(愛知産業大学 造形学部 准教授) 竹内 孝治(愛知産業大学 造形学部 講師)				
講習概要	本講習では、日々の生活と密接な関係にある建築に焦点を当て、健康で安全な暮らしについて考えます。まず、「地震の被害と対策」と題して、建築技術の変遷を紹介し、安心・安全な暮らしへ向けた様々なレベルの防災について簡単な演習を行いつつ説明します。次いで、戦後日本の住経験と戦後新教育の関係を事例に、近年のアクティブ・ラーニングにもつながる主体的な住環境へのかかわりについて、適宜、意見交換を行いながら進めます。				
講習計画	午前 (3時間)	地震被害と対策 【小椋】 I 建築技術の変遷 1) 構造技術史 ―洞穴から超高層へ― 2) 地震に強い住宅 ―耐震・制震・免震― II 安全・安心な暮らし 1) 地震や津波の災害とその教訓 2) 様々なレベルの防災			
	午後 (3時間)	戦後日本の住経験と生活単元学習【竹内】 I 戦後教科書のなかの〈住居〉 1) 戦後の「生活単元学習」で〈住居〉はどう扱われたのか 2) 〈住居〉の建築学・住居学的背景はどんなものだったのか 3) 「生活単元学習」の理想と挫折から何が学べるか II 戦後社会のなかの住経験 1) 戦後復興期の住経験はどんなものだったのか 2) 持ち家社会はどのように成立し今に至るのか 3) これからの教育に〈住居〉はどう活用できるか			
履修認定の方法	筆記試験				
主な受講対象者	小学校・中学校・高等学校の教諭				
備考					